

(5) 住居の床面積別にみた状況

住居の床面積別に出生の状況を見ると、「出生あり」総数では「25㎡未満」が最も高くなっているのに比べ、「第2子出生」では「150～200㎡未満」が最も高くなっている。

第1回、第2回、第3回及び第4回からの夫婦について、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の住居の床面積階級別に、この4年間の出生の状況をみた。

「出生あり」の割合を出生順位別にみると、「第1子出生あり」では「25㎡未満」の56.5%、「第2子出生あり」では「150～200㎡未満」の63.6%、「第3子以降出生あり」では「200㎡以上」が23.8%と最も高くなっている。

また、住居の床面積別に出生の状況を見ると、「出生あり」総数では「25㎡未満」が最も高くなっているのに比べ、「第2子出生」では「150～200㎡未満」が最も高くなっている。(表14、図13)

表14 住居の床面積階級別にみたこの4年間の出生の状況

		(単位：%)												
		総数			子どもなし			1人			2人以上			
		総数	出生あり	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし	
住居の床面積	総数	(100.0)	100.0	31.5	68.5	100.0	38.1	61.9	100.0	53.0	47.0	100.0	15.0	85.0
	25㎡未満	(2.5)	100.0	43.0	57.0	100.0	56.5	43.5	100.0	60.0	40.0	100.0	18.2	81.8
	25～50㎡未満	(19.4)	100.0	35.2	64.8	100.0	36.0	64.0	100.0	53.5	46.5	100.0	18.2	81.8
	50～75㎡未満	(23.5)	100.0	32.8	67.2	100.0	36.9	63.1	100.0	58.0	42.0	100.0	12.7	87.3
	75～100㎡未満	(15.1)	100.0	30.0	70.0	100.0	41.1	58.9	100.0	45.7	54.3	100.0	13.4	86.6
	100～150㎡未満	(14.9)	100.0	23.6	76.4	100.0	32.9	67.1	100.0	41.6	58.4	100.0	14.7	85.3
	150～200㎡未満	(6.2)	100.0	30.1	69.9	100.0	37.0	63.0	100.0	63.6	36.4	100.0	14.9	85.1
	200㎡以上	(4.3)	100.0	33.6	66.4	100.0	32.0	68.0	100.0	55.0	45.0	100.0	23.8	76.2

注：1) 集計対象は、①または②に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までに結婚し、第5回まで双方から回答を得られている夫婦

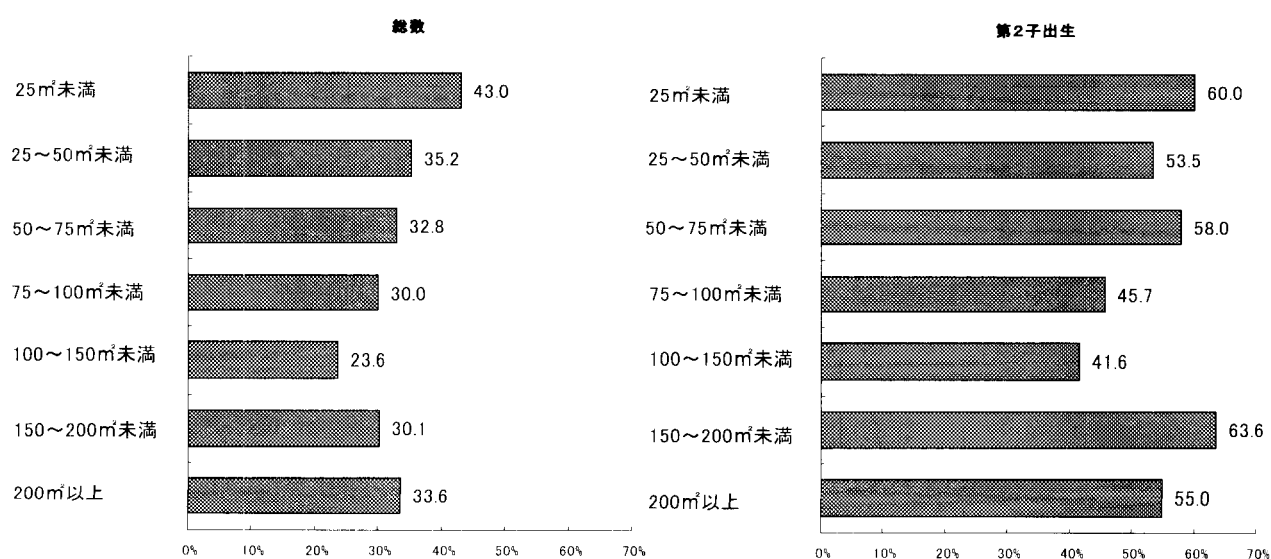
2) 住居の床面積は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の状況である。

3) 「子どもなし」「1人」「2人以上」は、出生前の状況である。

4) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

5) 総数には、住居の床面積不詳を含む。

図13 住居の床面積階級別にみたこの4年間に「出生あり」の夫婦



注：1) 集計対象は、①または②に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までに結婚し、第5回まで双方から回答を得られている夫婦

2) 住居の床面積は、出生前の状況である。

3) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

(6) 夫婦の合計所得額別にみたこの3年間の出生の状況

「出生あり」の割合を出生順位別にみると、「第1子出生」では「100万円未満」が57.1%、「第2子出生」では「100～200万円未満」が56.3%、「第3子以降出生」では「200～300万円未満」が18.2%と最も高くなっている。

第1回、第2回、第3回及び第4回からの夫婦について、「出生あり」は、平成16年6月から平成17年5月までの出産は平成15年中、平成17年6月から平成18年5月までの出産は平成16年中、平成18年6月から平成18年10月までの出産は平成17年中の、「出生なし」は平成17年中の夫婦の合計所得額階級別に、この3年間の出生の状況をみた。

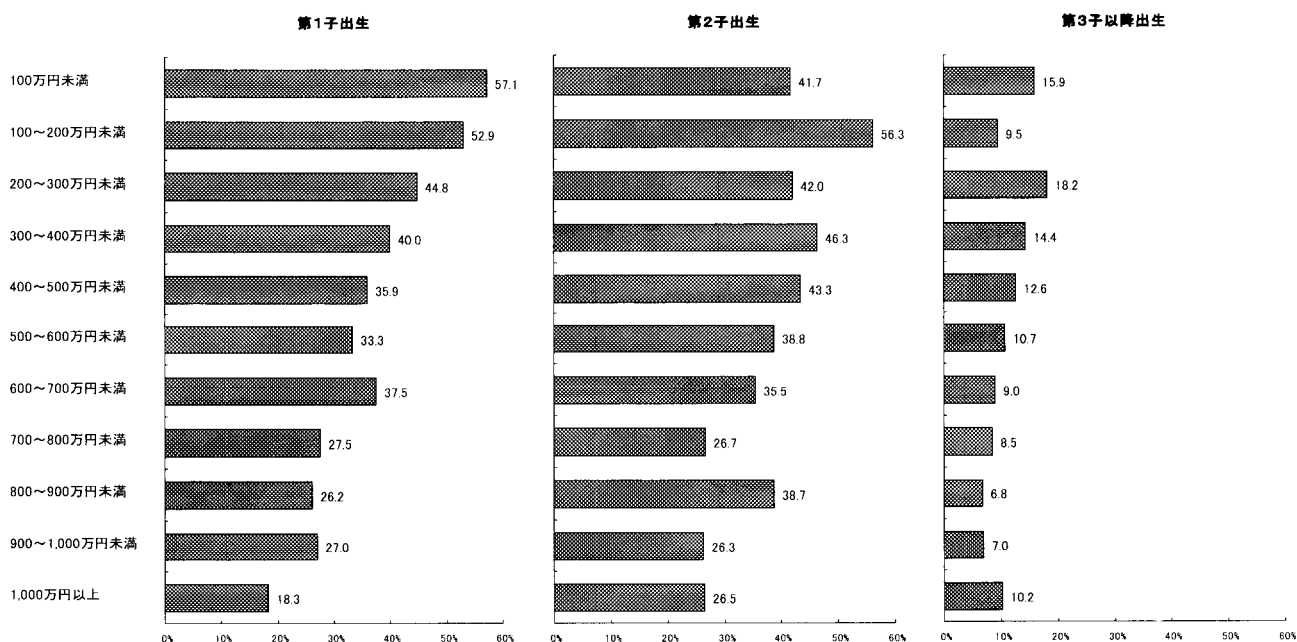
「出生あり」の割合を出生順位別にみると、「第1子出生あり」では「100万円未満」が57.1%、「第2子出生あり」では「100～200万円未満」が56.3%、「第3子以降出生あり」では「200～300万円未満」が18.2%と最も高くなっている。(表15、図14)

表15 夫婦の合計所得額階級別にみたこの3年間の出生の状況

		総数			子どもなし			1人			2人以上			
		総数	出生あり	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし	
夫婦の合計所得額	総数	(100.0)	100.0	23.7	76.3	100.0	33.1	66.9	100.0	41.1	58.9	100.0	10.7	89.3
	100万円未満	(2.7)	100.0	32.6	67.4	100.0	57.1	42.9	100.0	41.7	58.3	100.0	15.9	84.1
	100～200万円未満	(1.6)	100.0	37.0	63.0	100.0	52.9	47.1	100.0	56.3	43.8	100.0	9.5	90.5
	200～300万円未満	(5.0)	100.0	32.9	67.1	100.0	44.8	55.2	100.0	42.0	58.0	100.0	18.2	81.8
	300～400万円未満	(11.5)	100.0	29.8	70.2	100.0	40.0	60.0	100.0	46.3	53.7	100.0	14.4	85.6
	400～500万円未満	(16.0)	100.0	26.5	73.5	100.0	35.9	64.1	100.0	43.3	56.7	100.0	12.6	87.4
	500～600万円未満	(16.6)	100.0	21.9	78.1	100.0	33.3	66.7	100.0	38.8	61.2	100.0	10.7	89.3
	600～700万円未満	(11.6)	100.0	21.5	78.5	100.0	37.5	62.5	100.0	35.5	64.5	100.0	9.0	91.0
	700～800万円未満	(7.7)	100.0	17.7	82.3	100.0	27.5	72.5	100.0	26.7	73.3	100.0	8.5	91.5
	800～900万円未満	(5.6)	100.0	19.0	81.0	100.0	26.2	73.8	100.0	38.7	61.3	100.0	6.8	93.2
	900～1,000万円未満	(3.0)	100.0	18.2	81.8	100.0	27.0	73.0	100.0	26.3	73.7	100.0	7.0	93.0
1,000万円以上	(6.2)	100.0	15.8	84.2	100.0	18.3	81.7	100.0	26.5	73.5	100.0	10.2	89.8	

注：1) 集計対象は、①または②に該当する同居夫婦である。ただし、平成16年5月以前の出産で、出生前の所得額が平成14年中以前となる夫婦を除く。
 ①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回に独身で第4回までに結婚し、第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 2) 所得額は、夫婦の総所得額であり、「出生あり」は、平成16年6月から平成17年5月までの出産は平成15年中、平成17年6月から平成18年5月までの出産は平成16年中、平成18年6月から平成18年10月までの出産は平成17年中の、「出生なし」は平成17年中の状況である。
 3) 「子どもなし」「1人」「2人以上」は、出生前の状況である。
 4) 3年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
 5) 総数には、所得額不詳を含む。

図14 夫婦の合計所得額階級別にみたこの3年間に「出生あり」の夫婦



注：1) 集計対象は、①または②に該当する同居夫婦である。ただし、平成16年5月以前の出産で、出生前の所得額が平成14年中以前となる夫婦を除く。
 ①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回に独身で第4回までに結婚し、第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 2) 所得額は、夫婦の総所得額であり、平成16年6月から平成17年5月までの出産は平成15年中、平成17年6月から平成18年5月までの出産は平成16年中、平成18年6月から平成18年10月までの出産は平成17年中の状況である。
 3) 3年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

2 仕事をしていた妻の出産後の就業継続の有無

(1) 出生順位、就業形態別にみた状況

仕事をしていた妻は、仕事が正規の場合 70.4%、非正規の場合 22.2%が出産後も同一就業を継続している。

第1回、第2回、第3回及び第4回からの夫婦のうち、この4年間に子どもが生まれた夫婦の、出産前に仕事ありであった妻について、出産後において「同一就業継続」であった割合は、48.6%となっている。また、出生順位別にみると、「第1子」では42.0%、「第2子」では55.0%、「第3子以降」では47.7%となっている。

さらに、就業形態別にみると、「正規」では70.4%、「非正規」では22.2%が「同一就業継続」となっている。(表16、図15)

表16 出生順位、就業形態別にみた出産後の就業継続の有無

		(単位：%)					
		総数	同一就業継続	転職	離職	不詳	
(再掲) 出生順位、 出産前 の	総数	(100.0)	100.0	48.6	6.5	41.3	3.7
	第1子	(36.8)	100.0	42.0	2.2	52.5	3.3
	第2子	(41.1)	100.0	55.0	8.4	32.7	4.0
	第3子以降	(22.2)	100.0	47.7	10.1	38.5	3.7
	(再掲) 正規	(45.3)	100.0	70.4	2.2	26.5	0.9
	(再掲) 非正規	(38.4)	100.0	22.2	10.1	66.7	1.1

注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの4年間に子どもが生まれた夫婦である。

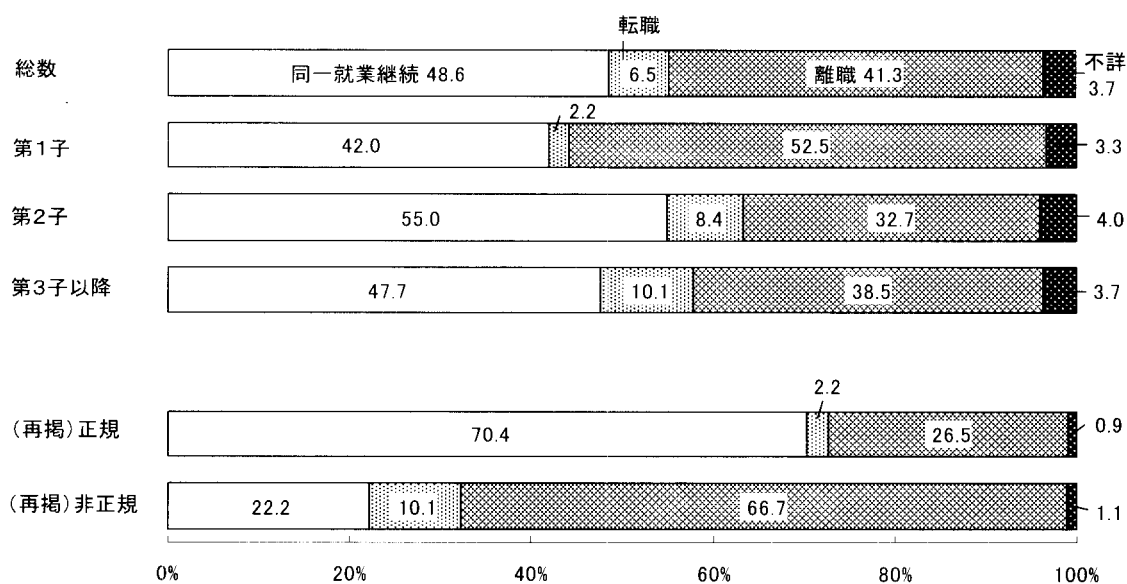
①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

③出産前に妻が仕事ありであった夫婦

2) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図15 出生順位、就業形態別にみた出産後の就業継続の有無



注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの4年間に子どもが生まれた夫婦である。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

③出産前に妻が仕事ありであった夫婦

2) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している

3) 「正規」「非正規」は、出産前の状況である

(2) 妻の職場の育児休業制度の有無別にみた状況

妻の職場に育児休業制度があり、利用しやすい雰囲気がある場合は77.9%、制度がない場合は19.3%の妻が、出産後も同一就業を継続している。

第1回、第2回、第3回及び第4回からの夫婦のうち、出産前に妻が会社等に勤めていて、この3年間に子どもが生まれた夫婦（表12において「出生あり」であった夫婦）について、妻の職場の利用可能な育児休業制度の有無別に、出産後における妻の就業継続の有無をみた。

「同一就業継続」の割合は、育児休業の「制度あり」では73.9%、「制度なし」では19.3%となっている。また、「制度あり」のうち「利用しやすい雰囲気がある」では77.9%、「利用しにくい雰囲気がある」では70.4%となっている。

さらに、就業形態別に見ると、「正規」で「制度あり」では81.5%、「非正規」で「制度あり」では、34.8%が「同一就業継続」となっている。（表17、図16）

表17 妻の職場の育児休業制度の有無別にみた就業継続の有無

(単位：%)

		総数	同一就業継続	転職	離職	不詳	
出産前の妻の職場の育児休業制度の有無	総数	(100.0)	100.0	47.6	6.5	45.2	0.7
	制度あり	(48.6)	100.0	73.9	2.8	23.2	-
	利用しやすい雰囲気がある	(26.4)	100.0	77.9	2.6	19.5	-
	利用しにくい雰囲気がある	(9.2)	100.0	70.4	3.7	25.9	-
	どちらもいえない	(12.3)	100.0	66.7	2.8	30.6	-
	制度なし	(28.4)	100.0	19.3	9.6	68.7	2.4
	制度があるかないかわからない	(17.8)	100.0	23.1	9.6	67.3	-
	(再掲) 正規	(100.0)	100.0	71.7	1.3	26.3	0.7
	制度あり	(78.3)	100.0	81.5	0.8	17.6	-
	制度なし	(11.2)	100.0	41.2	-	52.9	5.9
	制度があるかないかわからない	(7.9)	100.0	33.3	-	66.7	-
	(再掲) 非正規	(100.0)	100.0	21.4	12.1	65.7	0.7
	制度あり	(16.4)	100.0	34.8	13.0	52.2	-
制度なし	(47.1)	100.0	13.6	12.1	72.7	1.5	
制度があるかないかわからない	(28.6)	100.0	20.0	12.5	67.5	-	

注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの3年間に子どもが生まれた夫婦である。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

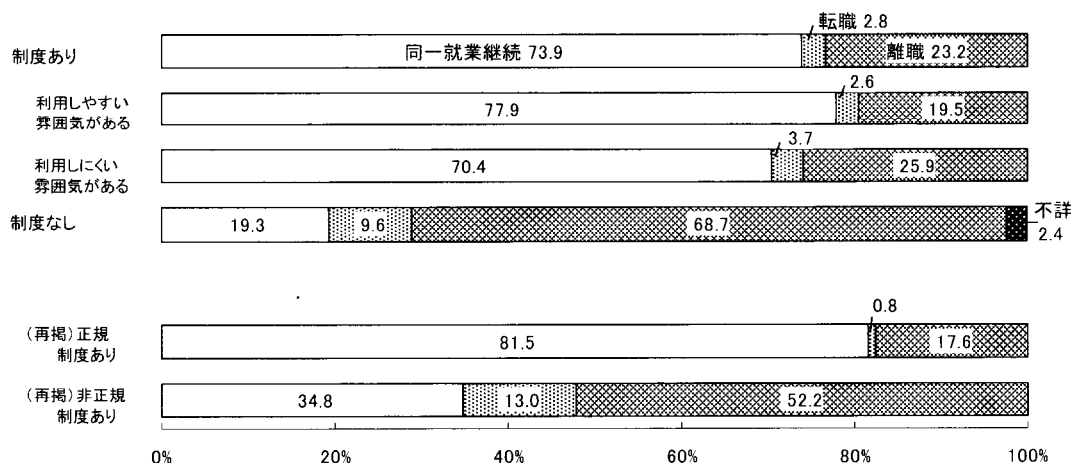
③出産前に妻が会社等に勤めていて、育児休業制度の有無のデータが得られている夫婦

2) 育児休業制度の有無とは、利用可能な制度があるかどうかをいう。

3) 「正規」「非正規」は、出産前の状況である。

4) 総数には、育児休業制度の有無不詳を含む。

図16 妻の職場の育児休業制度の有無別にみた就業継続の有無



注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの3年間に子どもが生まれた夫婦である。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

③出産前に妻が会社等に勤めていて、育児休業制度の有無のデータが得られている夫婦

2) 育児休業制度の有無とは、利用可能な制度があるかどうかをいう。

3) 「正規」「非正規」は、出産前の状況である。

(3) 夫の平日の家事・育児時間別にみた状況

出産後の夫の平日の家事・育児時間が長いほど、妻が出産後も同一就業を継続する割合が高くなり、離職する割合が低くなる傾向がある。

第1回、第2回、第3回及び第4回からの夫婦のうち、この4年間に子どもが生まれた夫婦の、出産前に仕事ありであった妻について、出産後の夫の平日の家事・育児時間別に、妻の出産後における「同一就業継続」の割合をみると、「家事・育児時間なし」で45.0%、「4時間以上」で65.3%となっている。また、「離職」の割合をみると、「家事・育児時間なし」で50.0%、「4時間以上」で22.4%と、夫の家事・育児時間が長いほど低くなる傾向がある。(表18、図17)

表18 夫の平日の家事・育児時間別にみた妻の就業継続の有無

		(単位：%)					
		総数	同一就業継続	転職	離職	不詳	
出生 順位 後位、 夫の 平日の 家事・ 育児 時間	総数	(100.0)	100.0	48.1	6.2	41.9	3.7
	家事・育児時間なし	(8.3)	100.0	45.0	2.5	50.0	2.5
	2時間未満	(48.8)	100.0	44.7	5.1	46.0	4.3
	2～4時間未満	(30.1)	100.0	47.6	8.3	40.0	4.1
	4時間以上	(10.2)	100.0	65.3	10.2	22.4	2.0
	第1子出産	(100.0)	100.0	40.9	2.3	53.4	3.4
	家事・育児時間なし	(11.4)	100.0	30.0	-	65.0	5.0
	2時間未満	(54.5)	100.0	38.5	2.1	54.2	5.2
	2～4時間未満	(22.7)	100.0	45.0	2.5	52.5	-
	4時間以上	(9.1)	100.0	56.3	6.3	37.5	-
	第2子以降出産	(100.0)	100.0	52.3	8.5	35.3	3.9
	家事・育児時間なし	(6.5)	100.0	60.0	5.0	35.0	-
	2時間未満	(45.4)	100.0	48.9	7.2	40.3	3.6
	2～4時間未満	(34.3)	100.0	48.6	10.5	35.2	5.7
	4時間以上	(10.8)	100.0	69.7	12.1	15.2	3.0

注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの4年間に子どもが生まれた夫婦である。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

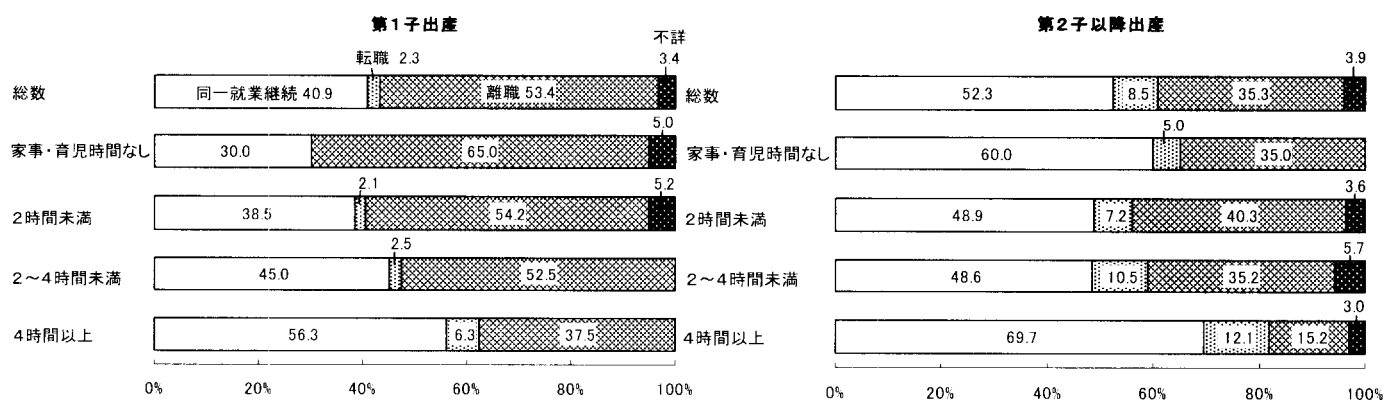
②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

③出産前に妻が仕事ありであった夫婦

2) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

3) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。

図17 夫の平日の家事・育児時間別にみた妻の就業継続の有無



注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの4年間に子どもが生まれた夫婦である。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

③出産前に妻が仕事ありであった夫婦

2) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

3) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。

(4) 1年前の「出産後の就業継続意欲」別にみた状況

仕事を「出産した後も続ける」と考えていた妻の80.7%が、出産後も同一就業を継続している。

第1回、第2回、第3回及び第4回からの夫婦のうち、第4回に仕事をしていて、この1年間に出産した妻について、第4回の出産後の就業継続意欲別に就業継続の有無をみた。

同じ仕事を「出産した後も続ける」と考えていた妻の80.7%が、出産後も「同一就業継続」となっている。

また、出生順位別にみると、「出産した後も続ける」と考えていた場合の「同一就業継続」は、「第1子出産」で93.8%、「第2子出産」で72.0%、「第3子以降出産」では81.3%となっている。(表19、図18)

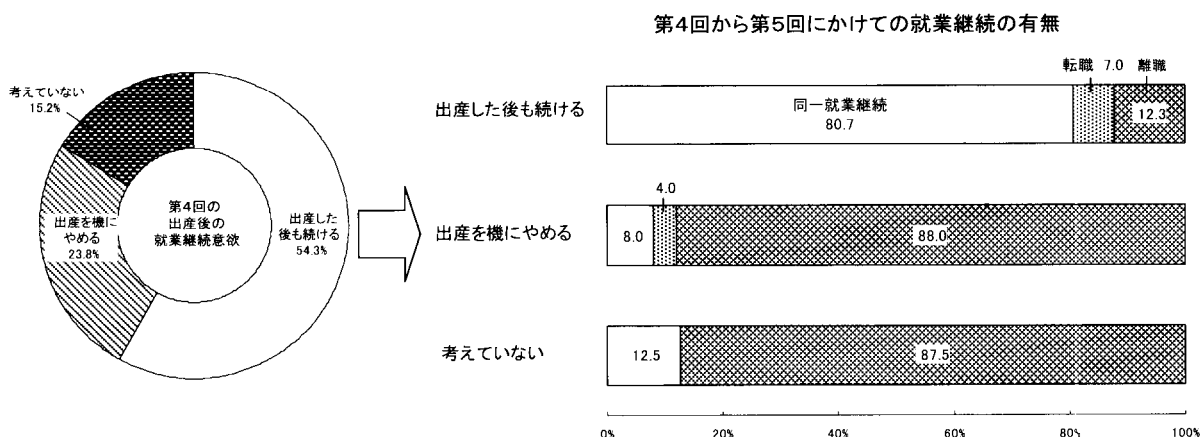
表19 妻の第4回の出産後の就業継続意欲別にみた就業継続の有無

(単位：%)

		総数	同一就業継続	転職	離職	
出生順位、 第4回の妻の出産後の 就業継続意欲、	総数	(100.0)	100.0	50.5	6.7	42.9
	出産した後も続ける	(54.3)	100.0	80.7	7.0	12.3
	出産を機にやめる	(23.8)	100.0	8.0	4.0	88.0
	考えていない	(15.2)	100.0	12.5	-	87.5
	第1子出産	(100.0)	100.0	46.2	-	53.8
	出産した後も続ける	(41.0)	100.0	93.8	-	6.3
	出産を機にやめる	(41.0)	100.0	6.3	-	93.8
	考えていない	(15.4)	100.0	33.3	-	66.7
	第2子出産	(100.0)	100.0	48.7	12.8	38.5
	出産した後も続ける	(64.1)	100.0	72.0	12.0	16.0
	出産を機にやめる	(15.4)	100.0	-	-	100.0
	考えていない	(10.3)	100.0	-	-	100.0
第3子以降出産	(100.0)	100.0	59.3	7.4	33.3	
出産した後も続ける	(59.3)	100.0	81.3	6.3	12.5	
出産を機にやめる	(11.1)	100.0	33.3	33.3	33.3	
考えていない	(22.2)	100.0	-	-	100.0	
(再掲) 正規	(100.0)	100.0	74.5	3.9	21.6	
出産した後も続ける	(78.4)	100.0	90.0	5.0	5.0	
出産を機にやめる	(17.6)	100.0	11.1	-	88.9	
考えていない	(2.0)	100.0	100.0	-	-	
(再掲) 非正規	(100.0)	100.0	21.1	7.9	71.1	
出産した後も続ける	(21.1)	100.0	62.5	25.0	12.5	
出産を機にやめる	(42.1)	100.0	6.3	6.3	87.5	
考えていない	(34.2)	100.0	7.7	-	92.3	

注：1) 集計対象は、第5回まで双方から回答を得られている同居夫婦で、妻が第4回に仕事ありで、この1年間に出産した夫婦のうち、第4回の子どもをもつ意欲が「絶対欲しい」「欲しい」「どちらとも言えない」「あまり欲しくない」のいずれかの者である。
2) 総数には、出産後の就業継続意欲不詳を含む。

図18 妻の第4回の出産後の就業継続意欲別にみた就業継続の有無



注：集計対象は、第5回まで双方から回答を得られている同居夫婦で、妻が第4回に仕事ありで、この1年間に出産した夫婦のうち、第4回の子どもをもつ意欲が「絶対欲しい」「欲しい」「どちらとも言えない」「あまり欲しくない」のいずれかの者である。

配偶者や家族が退職することを望んだり、あるいは、会社に働き続けにくい雰囲気がある、ということがあった妻では、「同一就業継続」が23.8%、「離職」が71.4%となっている。

第4回の出産後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気別に、就業継続の有無をみると、「配偶者や家族が出産後退職することを望んでいる」あるいは「会社に出産後働き続けにくい雰囲気がある」ということがあった場合、「同一就業継続」が23.8%、「離職」が71.4%となっている。

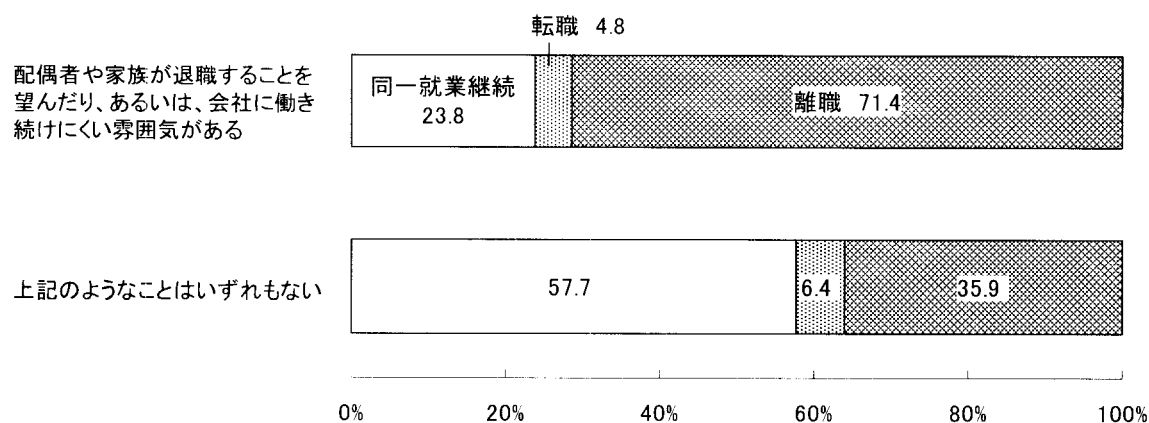
また、「配偶者や家族が出産後退職することを望んでいる」、「会社に出産後働き続けにくい雰囲気がある」ということがいずれもなかった場合、「同一就業継続」が57.7%、「離職」が35.9%となっている。(表20、図19)

表20 妻の第4回の出産後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気別にみた就業継続の有無

		(単位：%)				
		総数	同一就業継続	転職	離職	
第4回の 家族の考え方や 会社の雰囲気	総数	(100.0)	100.0	50.5	6.7	42.9
	配偶者や家族が退職することを望んだり、 あるいは、会社に働き続けにくい雰囲気がある	(20.0)	100.0	23.8	4.8	71.4
	上記のようなことはいずれもない	(74.3)	100.0	57.7	6.4	35.9

注：1) 集計対象は、第5回まで双方から回答を得られている同居夫婦で、妻が第4回に仕事ありで、この1年間に出産した夫婦のうち、第4回の子どもをもつ意欲が「絶対欲しい」「欲しい」「どちらとも言えない」「あまり欲しくない」のいずれかの者である。
2) 総数には、出産後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気不詳を含む。

図19 妻の第4回の出産後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気別にみた就業継続の有無



注：集計対象は、第5回まで双方から回答を得られている同居夫婦で、妻が第4回に仕事ありで、この1年間に出産した夫婦のうち、第4回の子どもをもつ意欲が「絶対欲しい」「欲しい」「どちらとも言えない」「あまり欲しくない」のいずれかの者である。

Ⅲ 職業観・子ども観

1 職業観

「独身」、「配偶者あり・出生なし」、「配偶者あり・出生あり」で職業観の割合の差が男女ともに大きいのは、「家計に余裕をもつため」「経済的に自立するため」となっている。

第1回の独身者について、第5回の配偶者の有無、この4年間の出生の有無別に、第5回の職業観をみた。

「独身」、「配偶者あり・出生なし」、「配偶者あり・出生あり」別に職業観の割合の差をみると、男女ともに差が大きいのは、「家計に余裕をもつため」、「経済的に自立するため」となっており、男では、「生計を維持するため」、女では「社会人の責任・義務」の差が大きくなっている。

また、「生計を維持するため」は、男は、「独身」、「配偶者あり・出生なし」、「配偶者あり・出生あり」の順に割合が高くなっているが、女は順に低くなっている。(表21、図20)

表21 性、第5回の配偶者の有無、この4年間の出生の有無別にみた
第5回の職業観（複数回答）

(単位：%)

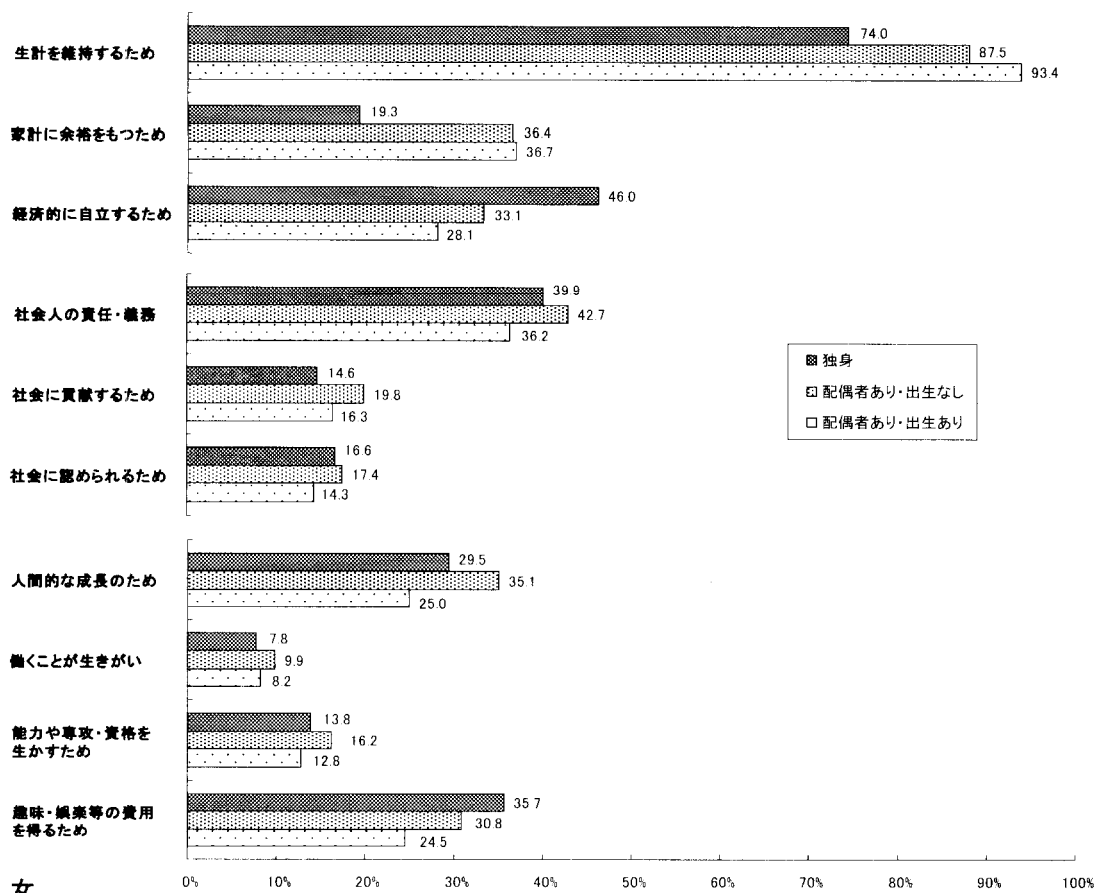
		男				女			
		総数	独身	配偶者あり		総数	独身	配偶者あり	
				出生なし	出生あり			出生なし	出生あり
第5回の職業観 (複数回答)	総数	100.0 (100.0)	100.0 (83.6)	100.0 (12.4)	100.0 (4.0)	100.0 (100.0)	100.0 (78.4)	100.0 (15.9)	100.0 (5.6)
	生計を維持するため	76.5	74.0	87.5	93.4	68.9	69.8	66.7	62.3
	家計に余裕をもつため	22.1	19.3	36.4	36.7	28.4	16.9	67.4	78.0
	経済的に自立するため	43.7	46.0	33.1	28.1	42.2	47.9	22.6	19.4
	社会人の責任・義務	40.1	39.9	42.7	36.2	36.5	41.5	20.1	13.8
	社会に貢献するため	15.3	14.6	19.8	16.3	12.2	12.6	11.2	10.1
	社会に認められるため	16.6	16.6	17.4	14.3	15.0	16.2	11.0	10.1
	人間的な成長のため	30.0	29.5	35.1	25.0	36.9	37.1	34.5	39.9
	働くことが生きがい	8.1	7.8	9.9	8.2	9.4	8.6	12.2	12.7
	能力や専攻・資格を生かすため	14.1	13.8	16.2	12.8	21.3	20.7	22.5	25.4
	趣味・娯楽等の費用を得るため	34.7	35.7	30.8	24.5	39.0	40.0	35.8	33.6
	特別な意義はない	4.5	5.0	1.6	3.1	2.9	3.3	1.6	1.1
わからない	1.0	1.1	0.5	0.5	0.4	0.5	0.3	-	
その他	0.9	1.0	0.3	0.5	1.1	0.9	1.8	1.9	

注：1)集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者である。

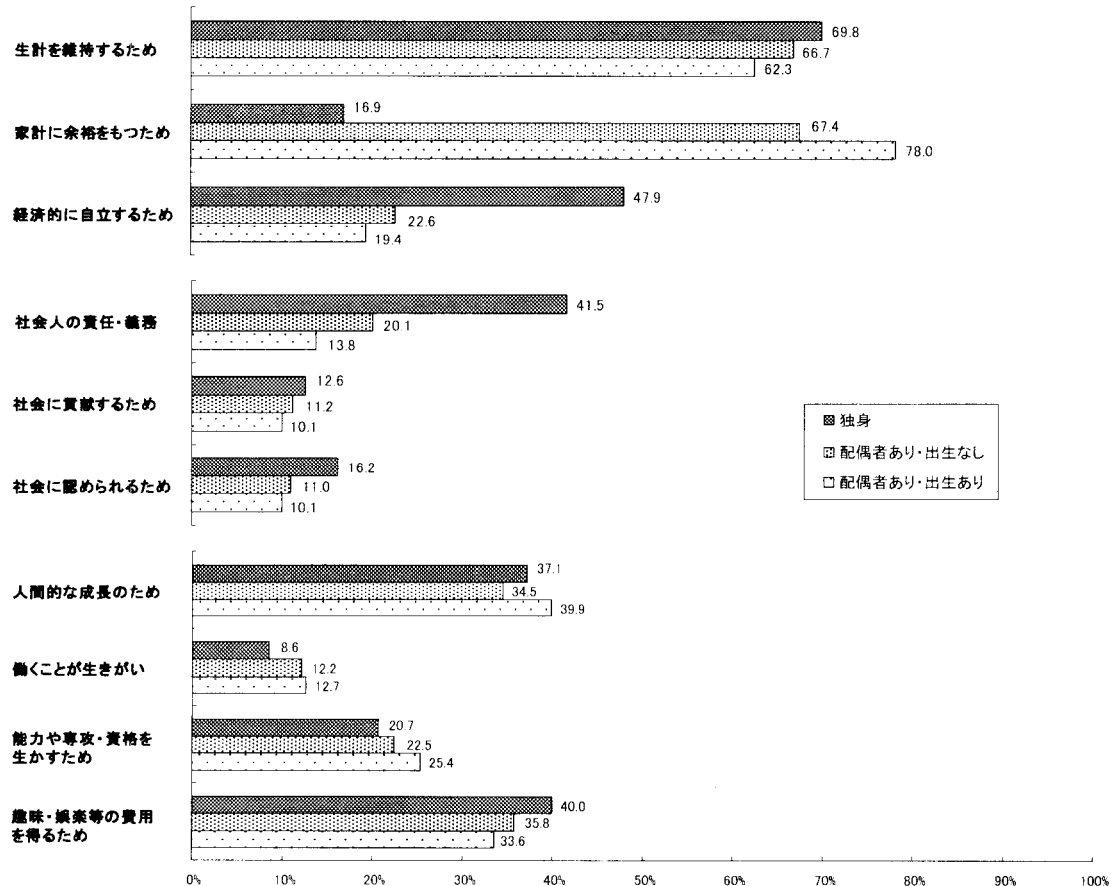
2)総数には、職業観不詳を含む。

図20 第5回の配偶者の有無、この4年間の出生の有無別にみた
第5回の職業観（複数回答）

男



女



注：集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者である。

2 子ども観

「独身」、「配偶者あり・出生なし」、「配偶者あり・出生あり」で子ども観の割合の差が男女ともに大きいのは、「家族との結びつきが深まる」、「子どもとのふれあいが楽しい」、「子育てを通じて人間的に成長できる」となっている。

第1回の独身者について、第5回の配偶者の有無、この4年間の出生の有無別に、第5回の子ども観をみた。

「独身」、「配偶者あり・出生なし」、「配偶者あり・出生あり」別に子ども観の割合の差をみると、男女ともに差が大きいのは、「家族の結びつきが深まる」、「子どもとのふれあいが楽しい」、「子育てを通じて人間的に成長できる」となっており、男では、「仕事に張り合いが生まれる」、女では、「子育てを通じて自分の友人が増える」の差が大きくなっている。特に、男女ともに「子どもとのふれあいが楽しい」の差が大きい。(表22、図21)

表22 性、第5回の配偶者の有無、この4年間の出生の有無別にみた
第5回の子ども観（複数回答）

(単位：%)

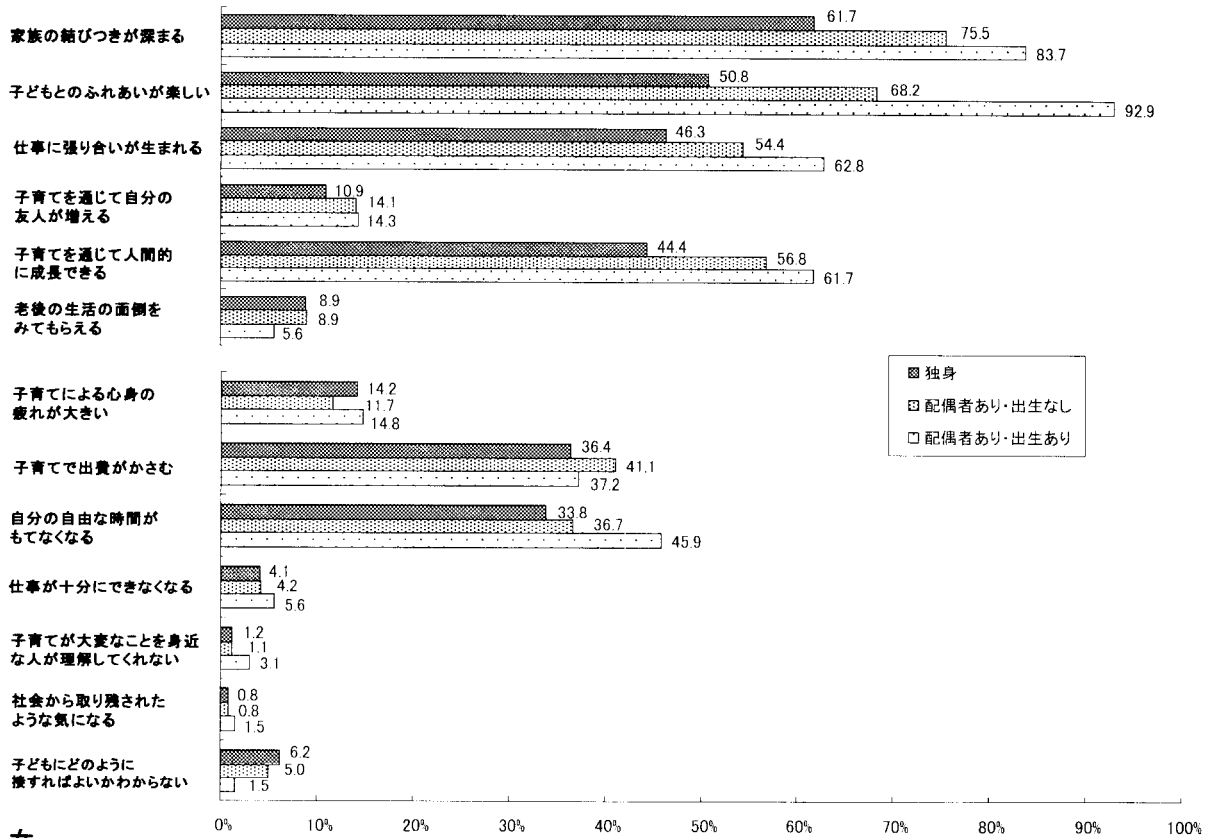
		男				女			
		総数	独身	配偶者あり		総数	独身	配偶者あり	
				出生なし	出生あり			出生なし	出生あり
第5回の子ども観 (複数回答)	総数	100.0 (100.0)	100.0 (83.6)	100.0 (12.4)	100.0 (4.0)	100.0 (100.0)	100.0 (78.4)	100.0 (15.9)	100.0 (5.6)
	家族の結びつきが深まる	64.3	61.7	75.5	83.7	73.2	70.1	83.8	87.3
	子どもとのふれあいが楽しい	54.6	50.8	68.2	92.9	65.8	62.4	73.2	91.8
	仕事に張り合いが生まれる	48.0	46.3	54.4	62.8	23.0	23.3	23.2	18.3
	子育てを通じて自分の友人が増える	11.4	10.9	14.1	14.3	23.5	21.1	28.4	43.3
	子育てを通じて人間的に成長できる	46.6	44.4	56.8	61.7	69.1	66.8	75.3	83.2
	老後の生活の面倒をみてもらえる	8.7	8.9	8.9	5.6	11.0	11.8	8.6	6.3
	子育てによる心身の疲れが大きい	13.9	14.2	11.7	14.8	25.8	25.4	26.8	29.1
	子育てで出費がかさむ	37.0	36.4	41.1	37.2	45.4	44.7	51.4	38.1
	自分の自由な時間がもてなくなる	34.7	33.8	36.7	45.9	54.1	53.1	54.2	67.5
	仕事が十分にできなくなる	4.1	4.1	4.2	5.6	24.6	24.5	26.9	20.1
	子育てが大変なことを身道な人が理解してくれない	1.2	1.2	1.1	3.1	2.7	2.7	2.1	3.7
	社会から取り残されたような気になる	0.8	0.8	0.8	1.5	4.9	3.7	7.3	15.3
	子どもにどのように接すればよいかわからない	5.9	6.2	5.0	1.5	8.0	8.4	7.4	3.0
その他	1.4	1.5	0.8	2.0	1.8	1.5	3.0	3.0	
感じていることは特になし	7.7	8.8	2.3	0.5	3.2	3.9	0.8	-	

注：1)集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者である。

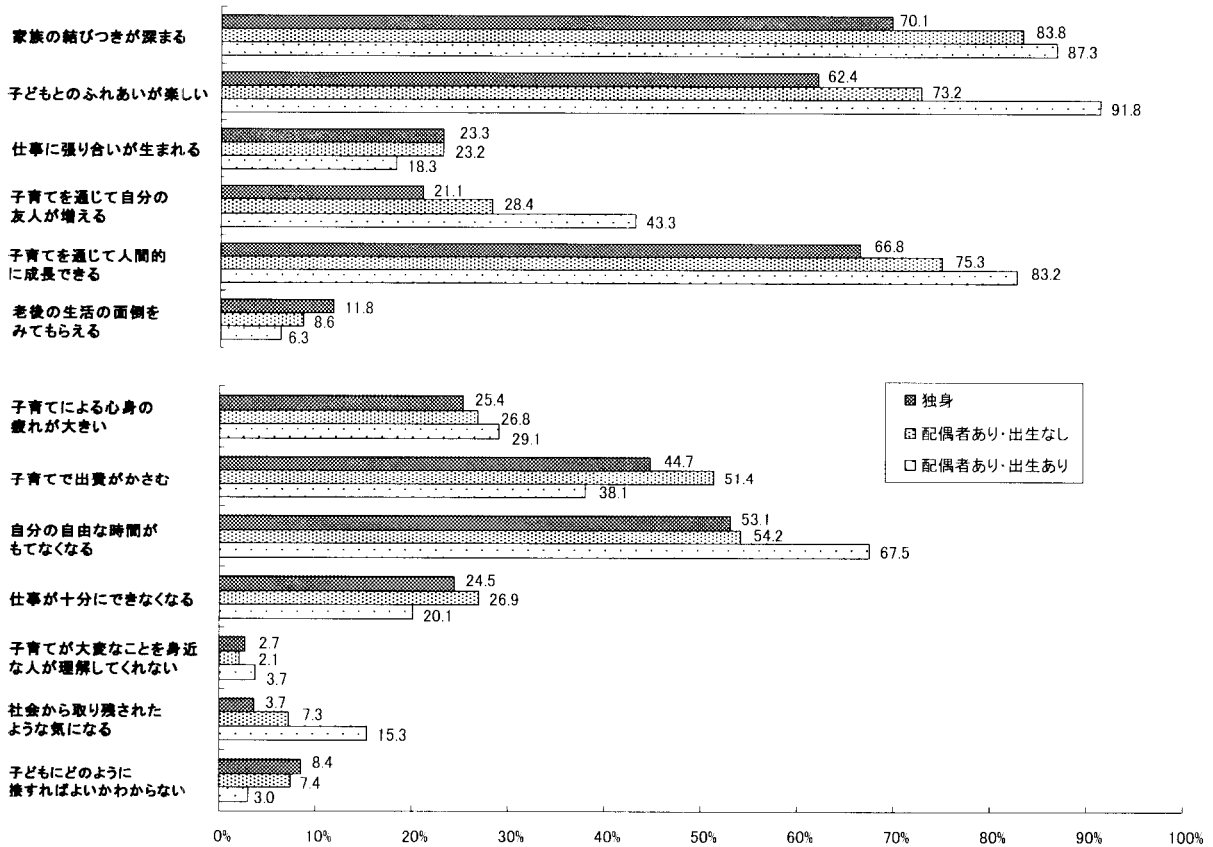
2)総数には、子ども観不詳を含む。

図2-1 第5回の配偶者の有無、この4年間の出生の有無別にみた第5回の子ども観（複数回答）

男



女



注：集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者である。

参 考

1 集計客体数一覧

I 結婚の状況、III 職業観・子ども観

本章では、主に以下について集計している。
 ・第1回の独身者：第1回調査で独身であり、第5回まで回答を得られている者
 ・第3回の独身者：第3回調査で独身であり、第5回まで回答を得られている者

図表番号	集計対象の条件	客体数		対象となる調査票			
		男	女	男性票	女性票	配偶者 (男性用)	配偶者 (女性用)
表1, 図1	第1回の男性票、女性票	7,588	8,403	○	○		
表2, 3, 21, 22 図2, 3, 20, 21	第1回の独身者	4,951	4,748	○	○		
表4	「結婚した」は結婚前に、「結婚していない」は第4回に仕事ありの者	4,332	4,237	○	○		
表5, 図4 注)	この4年間に結婚した者	810	1,024	○	○		
表7, 図6 注)	この4年間に結婚し、結婚前に仕事ありの女性		916		○		
表8, 9 図7, 8 注)	この1年間に結婚し、結婚前に仕事ありの女性		227		○		
表5, 図4	第5回まで独身	4,139	3,723	○	○		
表6, 図5 注)	第3回の独身者	4,562	4,262	○	○		

注) 表5, 6, 7, 8, 9については、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。

II 夫婦における子どもの出生の状況

本章では、以下について集計している。
 ・第1回からの夫婦：第1回から夫婦として調査対象としており、第1回から第5回まで夫、妻双方から回答を得られている夫婦
 ・第2回からの夫婦：第1回独身で第2回までに結婚し、その後第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ・第3回からの夫婦：第1回独身で第2回から第3回の間結婚し、その後第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ・第4回からの夫婦：第1回独身で第3回から第4回の間結婚し、その後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

図表番号	集計対象の条件	客体数					対象となる調査票			
		第1回からの夫婦	第2回からの夫婦	第3回からの夫婦	第4回からの夫婦	計	男性票	女性票	配偶者 (男性用)	配偶者 (女性用)
表10, 図9	夫婦	3,170	205	238	267	3,880	○	○	○	○
表11, 13, 14 図10, 12, 13 1)	出生ありの夫婦のうち、妻の「出生前データ（用語の定義10参照）」が得られていない夫婦を除く	3,002	172	197	207	3,578	○	○	○	○
表12, 図11	「出生あり」は出生前に、「出生なし」は第4回に妻が会社等に勤めており、育児休業制度の有無のデータが得られている	1,375	92	121	124	1,712	○	○	○	○
表15, 図14 1)	出生ありの夫婦のうち、平成16年5月以前の出産で、出生前の所得額が平成14年中以前となる夫婦を除く	2,743	161	193	203	3,300	○	○	○	○
表16, 18 図15, 17 1)	この4年間に出生あり、出産前に妻に仕事あり	404	40	34	14	492		○		
表17, 図16	この3年間に出生ありで、出産前に妻が会社等に勤めており、育児休業制度の有無のデータが得られている	211	36	32	13	292		○		
表19, 20 図18, 19 2)	この1年間に出生ありで、出産前に妻に仕事あり	69	5	17	14	105	○	○	○	○

注：1) 表13, 14, 15, 18については、調査対象となつてから同居している夫婦のみを対象としている。

2) 第4回の子どもをもつ意欲が「絶対欲しい」「欲しい」「どちらとも言えない」「あまり欲しくない」のいずれかの者である。

2 1以外の集計客体数

I 結婚の状況

表7 年齢階級別にみた女性の就業継続の有無

	総数	(再掲) 正規	(再掲) 非正規
総数	916	542	279

表8 第4回の結婚後の就業継続意欲別にみた女性の就業継続の有無

	総数	(再掲) 正規	(再掲) 非正規
総数	227	139	77

II 夫婦における子どもの出生の状況

表1-1 妻の仕事の有無別にみたこの4年間の出生の状況

	総数	子どもなし	1人	2人以上
総数	3 578	887	1 011	1 680
仕事あり	2 154	634	472	1 048
(再掲) 正規	705	303	170	232
(再掲) 非正規	1 131	282	231	618
仕事なし	1 421	253	539	629

表1-2 妻の職場の育児休業制度の有無別にみたこの3年間の出生の状況

	総数	子どもなし	1人	2人以上
総数	1 712	537	345	830
制度あり	661	251	134	276
利用しやすい雰囲気がある	309	103	72	134
利用しにくい雰囲気がある	141	66	21	54
どちらともいえない	170	69	31	67
制度なし	563	154	118	291
制度があるかわからない	418	111	76	231

表1-3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの4年間の出生の状況

	総数	子どもなし	1人	2人以上
総数	3 486	860	990	1 636
家事・育児時間なし	311	178	44	89
2時間未満	938	449	156	333
2～4時間未満	747	153	209	385
4～6時間未満	474	22	176	276
6～8時間未満	207	4	94	109
8時間以上	672	9	269	394

表1-4 住居の床面積階級別にみたこの4年間の出生の状況

	総数	子どもなし	1人	2人以上
総数	3 486	860	990	1 636
25㎡未満	86	23	30	33
25～50㎡未満	677	222	213	242
50～75㎡未満	820	271	219	330
75～100㎡未満	527	124	164	239
100～150㎡未満	521	70	125	326
150～200㎡未満	216	27	55	134
200㎡以上	149	25	40	84

表1-5 夫婦の合計所得階級別にみたこの3年間の出生の状況

	総数	子どもなし	1人	2人以上
総数	3 300	795	827	1 678
100万円未満	46	6	14	26
100～200万円未満	54	17	16	21
200～300万円未満	164	29	69	66
300～400万円未満	379	75	123	181
400～500万円未満	528	117	150	261
500～600万円未満	547	111	129	307
600～700万円未満	382	96	76	210
700～800万円未満	254	80	45	129
800～900万円未満	184	65	31	88
900～1,000万円未満	99	37	19	43
1,000万円以上	203	71	34	98

表1-7 妻の職場の育児休業制度の有無別にみた就業継続の有無

	総数	(再掲) 正規	(再掲) 非正規
総数	292	152	140

表1-8 夫の平日の家事・育児時間別にみた妻の就業継続の有無

	総数	第1子出産	第2子以降出産
総数	482	176	306

表1-9 妻の第1回の出産後の就業継続意欲別にみた就業継続の有無

	総数	第1子出産	第2子以降出産	第3子以降出産	(再掲) 正規	(再掲) 非正規
総数	105	39	39	27	51	38

III 職業観・子ども観

表2-1 性、第5回の配偶者の有無、この4年間の出生の有無別にみた第5回の職業観（複数回答）

表2-2 性、第5回の配偶者の有無、この4年間の出生の有無別にみた第5回の子ども観（複数回答）

	総数	独身	配偶者あり	
			出生なし	出生あり
男	4 951	4 139	616	196
女	4 748	3 723	757	268

用語の定義

- 1 「**独身者**」とは、「配偶者なし」と回答した者をいい、未婚、離別、死別は区別していない。
- 2 「**結婚した**」及び「**夫婦**」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者を含む。
- 3 「**正規**」及び「**非正規**」は次の就業形態をいう。
「正規」 … 正規の職員・従業員
「非正規」… アルバイト、パート、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託、その他
なお、これらの就業形態は、勤め先における呼称を基準としている。
- 4 「**同一就業継続**」とは、勤め先、及び就業形態が変わっていないこと、また、自ら行っている事業が変わっていないことをいう。
- 5 「**子どもなし**」とは、「子ども」欄に記入がなかった者をいう。
- 6 「**育児休業制度の有無**」とは、「あなたのお勤めの会社等には、あなたの就業形態で利用可能な次の制度はありますか」と質問した時の、育児休業制度についての回答である。
- 7 「**家事・育児時間**」とは、1日の中で家事や育児に何時間くらい費やしているかを、平日と休日に分けて質問したものである。
- 8 「**第1回**」「**第2回**」「**第3回**」「**第4回**」「**第5回**」とは、それぞれの回の調査で把握した項目である。
- 9 「**結婚前**」「**結婚後**」とは、それぞれ結婚直前、直後の調査において把握した状況である。
- 10 「**出生前（出産前）**」とは、各年5月までの間に出生があった場合は前々回の調査、6月から次の調査までの間に出生があった場合は前回の調査において把握した状況とする。また、「**出生前データ**」とは、出生前（出産前）の時点で把握した対象者のデータをいう。
これは、出生に係る分析においては、妊娠中における回答であるか否かに振り分けようとしたものである。
- 11 「**出生後（出産後）**」とは、出生直後の調査において把握した状況である。

- 12 「この4年間」とは、第1回調査から第5回調査までの間のことをいう。また、「この3年間」とは第2回調査から第5回調査までの間、「この2年間」とは第3回調査から第5回調査までの間、「この1年間」とは第4回調査から第5回調査までの間のことをいう。
- 13 「所得額」は、第3回では平成15年分を、第4回では平成16年分を、第5回では平成17年分を把握した。
- 14 「結婚（出産）後の就業継続意欲」とは、「結婚（出産）した後も現在の仕事を続けますか。」と質問したものである。
- 15 「職業観」とは、働くことに対する考え方を質問したものである。
- 16 「子ども観」とは、子どもをもつことに関する考え方を質問したものである。